

あひびき

公園は夜になつてからが面白い

生き生きとしはじめる

噴水は背伸びしてあばれはじめる

男は女をはげしく抱きしめる

木立の上からの月の光

はるか離れた場所からの電燈の光

草むらにかくれて猫の目が光る

女は言つた

「入口に痴漢にお気をつけ下さいって書いてあつたわ」

男は言つた

「愛してゐる場合はちがふ」

鳥達が次第に下の枝に移りはじめる

男の肩をたたくものがあつた

「おい」

といふ声が聞こえたやうにも思へた

女の肩もたたかれたらしい

女は言つた

「あら どんぐりだわ」

袴が露のしめりでゆるくなつて

あひびきの男女をびつくりさせたりして

公園は夜になつてからが面白い